

# 公開講座通信

Monthly letter from insource



## 若手こそ「論理的思考」を 学ばなければならない理由

### ビジネスパーソンにとって、「論理的思考」は“OS”である

「人に説明する」「問題点を探る」「判断を下す」等々、ビジネスの現場では様々なアクションが行われますが、その背後で常にフル稼働しているのが「論理的思考（ロジカルシンキング）」です。パソコンの構成要素に例えるならば、OS（Operating System：中核的なシステムソフトウェア）に当てはまります。様々な人が関わって仕事は行われるものですが、話が噛み合わなければ仕事を前に進めることはできません。考え方の異なる人と人との間に“互換性”を持たせてくれているのが、まさに「論理性」なのです。

### 「論理的思考」は若い人にこそ学んでほしい

論理的思考は、得意不得意で語られることの多いスキルですが、決してその能力は先天的に決まっているものではありません。むしろ、訓練によって後天的に身につけることが比較的容易な能力といえるのではないのでしょうか。事実、欧米においては、子供の頃から家庭や学校で、相手と議論を戦わせる訓練を受けてきた結果、同じ年代の日本人と比べて「しっかりした意見」が述べられるようになっていくことは、帰国子女の方たちを見ても実感できるどころです。社会人教育としても、「まずは、もう少し実務を覚えさせてから・・・」などと言わず、むしろ若いうちにこそ身に付けさせるべきスキルではないのでしょうか。

### 実践で活用するためには正しいトレーニングが必要

訓練を通じて身に付けることが比較的容易なスキルとはいえ、実際にビジネスで活用するためには、「考え方」と「実践」を結びつける、質のよいトレーニングの機会が欠かせません。そこで、「職場内研修」を通じてそのスキルアップが図られるわけですが、ともするとこのテーマは、アカデミックな方向に流れがちであるため、「面白かったけどどうやって仕事に使えばいいの？」というような感想を抱く人も少なくないと聞きます。

### アウトプットから逆算して組み立てた研修が効果的

ビジネスで論理的思考力が求められるのは、究極的には「書く」とか「話す」といった形でアウトプットする場面です。そこに研修のゴールを置いて、どのようなところで論理的思考力が必要となるのかを考えてプログラムに組み込んでいけば、実用性を実感できる研修が作れます。また、研修でインプットしたものを実践でアウトプットする機会がなければ能力としても定着しません。研修後の実践の場も意識した、トータルな教育の“しかけ作り”が、論理的思考力の習得においても大事です。

NEW

## 思考力を高める研修のご紹介

### ラテラルシンキング研修～新たな発想を出す力を養う

ラテラルシンキングの考え方を学ぶとともに、実際にラテラルシンキングを用いて、新しい発想やアイデアを生み出すワーク・演習に取り組んでいただきます。ロジカルシンキングやクリティカルシンキングとは異なる、柔軟なものの考え方を鍛える研修です。

### ロジカルシンキング研修

ビジネスの上で論理的であるということは、筋道が立っており、かつ相手が納得することを指します。本研修では、ロジカルシンキングの必要性と使い方について理解し、ツリー構造や演繹法と帰納法など演習を通して習得していただきます。